

平成 30 年度（2018 年度）第 2 回

函館市環境審議会会議録

開催日時	平成 31 年（2019 年）3 月 19 日（火） 15 時 00 分～16 時 30 分
開催場所	環境部庁舎 4 階大会議室
議 題	【報告事項】 (1) 新たな函館市環境基本計画策定のための基礎調査報告書について [公開] (2) 函館市の環境に関する市民および事業所アンケート調査報告書について [公開] (3) ワークショップ「はこだてエコカフェ」開催状況について [公開]
出席委員	三浦汀介委員，笠井亮秀委員，綿貫豊委員，三上修委員，若松裕之委員，平沢秀之委員，佐々木恵一委員，小玉齊明委員，澤辺桃子委員，渡辺友子委員，兼平史委員，池田誠委員，森谷貞幸委員，山本和人委員，竹内正幸委員，渡部保光委員，坂爪庄一委員，山本正子委員，小鳥二郎委員，谷岡浅子委員，鄭舜玉委員，森山佳子委員（計 22 名）
欠席委員	鳥田宏行委員，中市敏樹委員，西村洋子委員，（計 3 名）
事務局の 出席者の 職 氏 名	環境総務課長 進藤昭彦 環境総務課主査 福田誠 環境総務課主査 橋本健二 環境総務課主任 佐藤弘康 環境総務課主事 上野沙耶
福田主査	皆様，本日はお忙しい中，ご出席をいただき，誠にありがとうございます。 定刻となりましたので，ただいまから函館市環境審議会を開催いたします。 私は，本日の進行を務めさせていただきます環境部環境総務課の福田と申します。どうぞよろしく申し上げます。 はじめに，本日の審議会は委員定数25名のうち，出席が20名（2名遅

	<p>れて出席) と、過半数に達しておりますので、函館市環境基本条例第38条第3項によりまして、本会議は成立していることを報告いたします。</p> <p>なお、本審議会の議事録につきましては、後日、市のホームページで公開しますので、ご了承願います。</p> <p>本日は、委員改選後、2回目の審議会となりますが、前回欠席で紹介できなかった委員の皆さまで、本日出席いただいた皆さまを紹介させていただきます。</p> <p>【委員紹介】</p> <p>次に事務局をご紹介いたします。</p> <p>【事務局紹介】</p> <p>次に資料の確認をいたします。</p> <p>【配付資料の確認】</p> <p>それでは、規定により、議長は審議会会長をお願いすることになっております。</p> <p>この後の議事進行を会長にお願いします。</p>
三浦会長	<p>会長の三浦でございます。皆様、本日はお忙しいところ、ご出席いただきましてありがとうございます。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>函館市環境基本計画は、平成12年3月に策定され、平成22年3月に現計画に改定されたもので、来年度で計画期間が満了を迎えることとなります。</p> <p>新たな環境基本計画策定にあたり、今後、事務局で素案を策定し、当審議会でも議論いただき、最終的には、パブリックコメントを実施し、市民の皆さまからも意見を募り、計画を策定することとなります。</p> <p>本日は報告事項として、新たな環境基本計画策定のための基礎調査報告書、市民および事業所に対するアンケート調査、ワークショップ「はこだてエコカフェ」の開催状況について報告を受け、事務局が策定する素案にあたって、皆さんから御意見をいただければと思っております。</p> <p>なお、本日の審議会の終了予定時刻は17時を予定しております。</p> <p>では、報告事項(1)「新たな函館市環境基本計画策定のための基礎調査報告書について」から(3)「ワークショップはこだてエコカフェ</p>

	開催状況について」，事務局から一括して説明をお願いします。
進藤課長	(新たな函館市環境基本計画策定のための基礎調査報告書の内容説明)
福田主査	(市民アンケートおよび事業所アンケートの内容説明) (ワークショップはこだてエコカフェ開催状況の内容説明)
進藤課長	<p>基礎調査報告書，アンケート調査報告書，エコカフェの開催状況について，説明させていただきました。</p> <p>このあと皆さまから御意見等を頂戴したいと思いますが，現時点で，私どもが考えている次の計画の方向性やイメージについて，少しお話しさせていただきます。</p> <p>これまで第1次，第2次の計画に基づき取り組みを進めてきたことで，一定の効果を上げ，本市の環境の状況は概ね良好に推移してきていると考えております。</p> <p>これは，今後も大きく外れることはなく，維持されていくものと考えられるところでございます。</p> <p>こうしたことから，次の第3次計画は，現計画の施策の推進の考えを基本としながら，近年の環境の動向や社会情勢の変化，国や北海道等との計画との整合，他都市の計画との比較，現計画の検証による本市の課題，市内の実態などを踏まえて，策定していくというものになると考えています。</p> <p>本日，資料として「新たな環境基本計画について」という1枚ものを配布しております。</p> <p>まず，1 イメージとして，市民にとって身近で，親しみやすい計画にしたいということ，それから，定量的な目標や指標を設定し実効性のある計画にしたいということです。</p> <p>内容的に係わることとして，2 近年の環境の動向ですが，SDGs，地球温暖化対策の前回なかった適応策，海洋プラスチックごみ問題，生物多様性，基本的なことですが，循環型社会，近年の取り組みとして食品ロス問題などもございます。それと環境教育。こうしたものが，キーワードになるのかなと思っています。</p> <p>3 スケジュールですが，2019年3月までが，本日までの日程となっています。新年度に入り，8月に例年開催している環境白書の審議会が</p>

	<p>あり、9月から、新しい計画に係わり3回程度、審議会を開催したいと考えております。11月に答申をいただき、12月にパブリックコメントを実施し、2020年3月に第3次計画を策定するというスケジュールを想定しております。</p> <p>今後、基礎調査やアンケートの結果、エコカフェで出た御意見、本日、審議会の皆さまからいただく御意見などを踏まえながら、素案の作成を進めていきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。</p>
三浦会長	<p>ただいま事務局から説明がありましたが、新たな計画の素案策定に向けての御意見がありましたら挙手の上、お願いします。</p>
三上委員	<p>1点目は、前回の審議会の際に、大型クルーズ船が環境負荷をもたらすという話題になりましたが、その情報はどこかに載せなくていいのでしょうか。</p> <p>2点目は、生物多様性について、事務局から事前に相談を受け、函館市内の絶滅危惧種などの動物、植物について記載がありましたが、ミスが多かったのでは、問題があるのではないかと回答したので、記載を削除したのでしょうか。</p>
福田主査	<p>生物多様性の記載については、ご指摘を受け、函館市環境白書での記載をベースに修正させていただいております。</p>
三上委員	<p>正確な情報を誰も持ってなく、個人レベルでは情報を持っているはずなのですが、まとめきれてない状況です。今回、基礎調査報告書を直すことは出来るのでしょうか。</p>
進藤課長	<p>ご指摘を受け、掲載はしませんでした。改めて、調査をして報告書を修正することは考えておりません。</p>
三上委員	<p>お金もかかる場合もあると思いますが、市内の自然環境などを調査している団体があると思いますので、そういうところに聞いていただくなどして、できれば、そういう情報を載せていただきたいと思います。</p>
進藤課長	<p>載せていただきたいとは、報告書でしょうか。新たな基本計画でしょうか。</p>
三上委員	<p>函館市にそのような情報が、どこにもないので、どのような形でも残していただければと思います。</p> <p>3点目は、ごみの問題です。私もどこからごみが来るのが分からない</p>

	<p>のですが、個人レベルの問題なのか、ごみの処理の問題なのか分かりませんが、観光都市でもあるので、具体的にどうやったら、道路に落ちているごみが減らせるのか、新たな計画を策定する際に検討いただきたいと思います。</p> <p>最後に、資料2のアンケートの最後で性別を聞いているが、最近、男女の2択で質問するのが、問題がある方向に向かっていると思います。やり方が、いくつかあると思います。私もどれが一番いい方法か分かりませんが。</p>
福田主査	<p>アンケートの性別については、昨年10月のアンケート実施の際に、担当部局に確認しましたが、その段階で、性別確認について、市として定めたものがありませんでしたので、このような形で実施させていただきました。</p>
進藤課長	<p>クルーズ船や生物多様性、ごみの問題については、御意見としてお聞きしておきたいと思います。</p>
綿貫委員	<p>ごみのことと関連しますが、報告書の88ページで×になっているものを、何とかしていこうということになるかと思いますが、「循環型の社会をつくります」の客観的なデータでは目標を達成していることになっていますが、104ページの(2)では、平成29年度の排出量は25年度比6.7%で減っており、基準年度比15.2%の減量を目標としていると記載していますが、目標を達成しているということでしょうか。</p>
福田主査	<p>104ページについては、第3次函館市一般廃棄物処理基本計画に基づく目標値を記載しており、現在は、まだ経過途中という段階です。</p>
綿貫委員	<p>88ページの表の下の進行中の方になるのですよね。分かりました。</p> <p>104ページの文書では、1人当たりのごみの排出量が全国・全道平均を上回り、リサイクル率が全国・全道を下回りとありますが、総量としては目標を達成しているが、1人当たりやリサイクル率は全国平均と比べて悪いということですよ。そうすると、次の計画を作るときに目標値を総量ではなく、1人当たりの排出量やリサイクル率を全国平均と比べてどうかということでしょうか。</p> <p>私は、そっちの方が合理的なのかなと思います。これから人口減少がありますので、総量だけで目標を達成しているというのは、片手落ちの</p>

	<p>ような感じがします。</p>
福田主査	<p>目標値については、今後作成する素案でお示しすることになります が、ただいまの御意見を参考にしながら、素案を作成してまいりたいと 思います。</p>
綿貫委員	<p>「新たな基本計画について」という資料のなかで、食品ロスや海洋プ ラスチックごみ問題の記載があり、新たな計画に盛り込んでいくことと なるかと思いますが、具体的に、どのようにデータをとって目標値を定 めて、評価していくか、現段階でアイデアがあったら、ご説明いただき たい。</p> <p>プラスチックごみについては、昨年度の審議会でお聞きした際には、 データをとるのが難しいと、函館市にどの程度、プラスチックごみがで ているのか、あるいは、函館の海にどの程度、プラスチックごみがある のかというデータをとるのが難しいというお話だったと思います。</p>
進藤課長	<p>プラスチックの関係で申しますと、データをとるのは難しいと思いま す。国や北海道で海岸のごみの調査をしているのは把握しておりまし て、函館だと古川町の海岸で調査された結果が公表されています。市に おいては、新年度予算で海岸に啓発看板を設置やポスター作成などの啓 発事業の予算を計上しております。そのほか、事業者に対してのアンケ ートの実施を予定しているところでございます。</p>
綿貫委員	<p>事業者が、プラスチックをどの位使用して、どのように廃棄している のか、分かる資料があると、議論が深まると思います。</p>
進藤課長	<p>まず、啓発事業を進めながら、アンケート調査を実施した上で、次に 繋がるような取り組みを進めていければと思います。</p> <p>また、食品ロスについても、啓発を中心に取り組んでいる状況でござ います。</p>
綿貫委員	<p>啓発については分かりましたが、具体的に目標値を定めて、どのよう に評価するという方策はあるのでしょうか。</p>
進藤課長	<p>現時点では、考えてない状況でございます。</p>

坂爪委員	<p>桔梗，中の沢が広大な農地となっています。その上に産業廃棄物の処理施設がございますが，大気汚染の調査箇所が，ちょっと離れている感じがします。今後，安心して農作物を作れるような体制を考えていただければと思います。不安のない状況のために調査と業者への指導も含めてお願いしたいと思います。</p>
進藤課長	<p>監視については引き続き続けていきますし，関係者の皆さんへの情報提供も大事だと思っています。</p>
山本（正）委員	<p>綿貫委員が仰った部分と重複しますが，食品ロスについて，具体的にどのようにデータをとれるか，以前から気になっていました。ホテルで宴会があると残飯が残ります。持ち帰りの可能なホテルと不可能なホテルがあります。経営上の問題なので，我々が言う問題ではないかもしれませんが，持ち帰れるところが増えれば，若干ではあるが食品ロスが減ると思います。残飯として残った場合に，家畜等の餌になれば，大きく捉えると，循環型社会だと思います。このようなデータは，ある程度，とれるのではないかと思います。</p> <p>家庭系のごみについては，人口が減少しているのので，自然に減ってきている気がします。また，函館の人口は65歳以上が33%も占めており，高齢者のごみの出し方の調査，年齢別の調査とまでは言いません。それと区域的なもの。私自身，観光地の近くに住んでおりますが，観光客が非常に多いです。イコール，ポイ捨てではありませんが，外国人のマナーが徹底されているかどうか，日本人の観光客のマナーもですが，観光客が多いところは，ごみの排出量が多いと思います。</p>
進藤課長	<p>食品ロスについては，先ほど申し上げましたとおり，現段階ではポスターによる啓発等の取り組みしかしておりませんので，データの関係やどのように取り組んでいくかは，これからだと思っています。</p> <p>ポイ捨ての問題については，報告書でも，市民の皆さんも問題視しており，課題としておりますので，対策は重要になってくると思います。</p>
三浦会長	<p>年齢の構成が変わるとごみの出し方が，違うのではないかとありましたが，そちらは，いかがでしょうか。</p>
進藤課長	<p>新たな計画策定に向けた意見というより，取り組みの方なのかなと思いますので，参考意見として頂戴しておきたいと思います。</p>

山本（正） 委員	ポイ捨ての件ですが、この10年位の間には景観に配慮してかどうか分かりませんが、西部地区にポイ捨ての看板が立っておりましたが、ほとんど、見えなくなりました。環境部から提供されたもので、各町会で設置していたと思いますが、ほとんど姿を見なくなりました。今後の啓発はどのように考えておりますか。
進藤課長	ポイ捨ての看板については、函館の街をきれいにする市民運動協議会で配布しております。状況の悪いところに新しく設置したという話も聞いておりますが、それが計画的に設置したかまでは、確認しておりません。
三浦会長	今日のテーマは、素案に少し肉付けする意見をいただければと思いますので、何か、このようなことを考えたらという意見はございますか。 討論の場ではなく、素案をより良い方向にしていく提案をいただければと思います。
佐々木委員	函館市の都市計画の方向性として、立地適正化計画に基づき、進めていき、社会基盤の整備費用の削減や公共交通の維持につながっていくと思いますが、コンパクトシティの考え方が進むと、環境にもプラスのことがあると思います。素案の方向性については、立地適正化計画から、でてくる環境への配慮、あるいは影響、効果などを少し気にした方がいいと思います。
進藤課長	素案策定の際に、御意見があったことを踏まえたいと思います。
坂爪委員	空き地や原野に太陽光パネルが設置されていますが、いずれ、これらも産業廃棄物となります。その対策を前もって考えているのでしょうか。
進藤課長	現在、国が対策を検討しており、その動向を見ながら、市の方でも対応をしていくことになると思います。
鄭委員	初めての参加で、全体の様子が分からなく、ずっと聞いていましたが、私の函館市の環境部の認識が異なっていたような気がします。アンケート用紙を見たら、水質や騒音等の限られた環境の内容になっています。ただ、はこだてエコカフェでは、それだけの意見ではなく、様々な意見がでています。私がこの委員に応募した際には、広い意味での環境部だと思っていました。市役所には、観光部や経済部がありますが、それを

	<p>全部、網羅するのが環境部だと思っておりましたが、アンケートでは狭い範囲での環境を捉えております。そこに住んでいる市民は、もちろん水質や空気汚染等も大事ですが、目標値をほとんど達成していても函館を離れていくことは、別の環境の問題だと思っています。例えば労働環境や観光環境までに範囲を広げれば大変ですが、その他の部署とタイアップしながら、環境という範囲を広く見るべきではないかと感じておりました。初めて参加して、私が違うイメージを持っていたら、申し訳ありませんが、昔は今までの範囲でよかったかもしれませんが、時代とともに定義を見直すべきだと思っておりました。環境の範囲を広げてみてはどうかと思います。</p>
進藤課長	<p>一般的な環境の問題、雇用環境の問題、経済環境の問題などを全部含めて環境問題として扱ってはいかがかという御意見だと思えますが、現状としては、函館市の環境部は一般的な環境問題を取り扱っている部署になっております。御意見としては、伺っておきたいと思えます。</p>
鄭委員	<p>それでは、はこだてエコカフェの際の経済や観光に関する意見については、なぜ、掲載しているのですか。</p>
進藤課長	<p>参加された方には、その辺の線引きも難しいですし、それを発言してはダメだということもしませんでしたので、出た意見として、そのまま掲載しております。</p>
三上委員	<p>今の御意見すごく大切に、どんどん広げることにはならないのは分かりますが、言葉を選ばずに言うと、縦割りの感じがあって、少し越境してやっていただければというのが、正直な感想です。大変かと思えますが進めていただければと思います。一つの意見として聞いていただければと思います。</p>
三浦会長	<p>だいたい皆さんの御意見が出たようですので、報告事項1～3については、ほかに御意見がないようでしたら終了したいと思えます。</p> <p>なお、ただいま出された意見につきましては、新たな計画の素案策定の際には、十分に配慮されるようお願いいたします。</p> <p>次に「その他」になりますが、皆さんから何かありますでしょうか。特にないようですので事務局から何かありますか。</p>
進藤課長	<p>今日でなくても、後日、何かお気づきのことがありましたら、私ども</p>

	<p>の方に仰っていただければと思います。</p> <p>スケジュールでも説明したように、本日いただいた御意見を参考にしながら、素案の策定作業を進め、改めて、審議の場を設け、議論いただきたいと考えております。</p> <p>平成 31 年度につきましては、例年、実施している環境白書のための審議会のほか、3 回程度の審議会の開催となりますけれども、よろしくお願します。</p>
三浦会長	<p>新たな計画策定に伴い、通常の年度よりも審議会の開催が多くなりますので、皆さんよろしくお願します。</p> <p>これで予定しました議事をすべて終了しましたので、進行を事務局にお返しします。</p>
福田主査	<p>これをもちまして、函館市環境審議会を閉会します。</p>